

## 指標 17.19.1

### 指標名、ターゲット及びゴール

**指標 17.19.1** 開発途上国における統計能力の強化のために利用可能となった資源のドル額

**ターゲット 17.19** 2030年までに、持続可能な開発の進捗状況を測るGDP以外の尺度を開発する既存の取組を更に前進させ、開発途上国における統計に関する能力構築を支援する。

**ゴール 17** 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

### 定義及び根拠

- 定義  
統計能力強化分野へのODA支出総額の合計
- 概念  
OECD開発援助委員会（DAC）は、ODAを、DAC・ODA受取国・地域リストに掲載された国及び地域、並びに、国際機関に対する資金の流れのうち、次の条件を満たすものと規定している。
  - i) 国及び政府の政府等の公的機関、又はその執行機関によって供与される。
  - ii) 開発途上国の経済開発と福祉の促進を主目的とする。また、譲許性を有し、グラント・エレメントが25%以上（割引率10%で算出）。  
統計能力強化分野は、DACの定義により、CRSセクター・コード16062。
- 根拠及び解釈  
この指標は、開発途上国において実施中の統計支援の米ドルベースでの価値を断片的に提示することを目指すものである。

### データソース及び収集方法

OECD/DACは公的資金及び民間資金の流れについて、1960年から合計額レベルで、1973年からはCreditor Reporting Systemを通じた案件別レベルで、データを収集している（CRSデータは、約束額は1995年から、支出額は2002年から、完全なものが見なされている）。

ドナーによるデータの報告は、同一の基準及び手法で行われる。

データの報告は、国の行政機関（援助機関、外務省、財務省など）の統計報

告者により、毎暦年ベースで行われる。

統計報告者は、各ドナー国機関におけるデータ収集に責任を負う。

この統計報告者は通常、国の援助機関、外務省、財務省などに配置されている。

#### **算出方法及びその他の方法論的考察**

- 算出方法

統計能力強化分野における開発途上国への ODA 資金の流れの合計。

- コメントと限界

Creditor Reporting System のデータは 1973 年から利用可能。

ただし、案件別レベルのデータの捕捉が完全であると見なされるのは、  
約束額は 1995 年から、支出額は 2002 年からである。

#### **データの詳細集計**

この指標は、ドナー、受取国、資金種別、援助分類などに分解可能。

#### **参考**

URL: [www.oecd.org/dac/stats](http://www.oecd.org/dac/stats)

参考: 全てのリンクはこちらから:

<http://www.oecd.org/dac/stats/methodology.htm>

#### **データ提供府省**

外務省

#### **関連政策府省**

総務省

#### **担当国際機関**

PARIS21